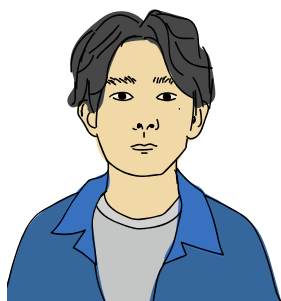


未来の市民像 (未来ペルソナ)

2023年10月

南長浜地域まちづくり検討会議

未来ペルソナ（10～20代前半の大学生世代）



氏名	向井 太郎		
年齢性別	19歳（男性） 2031年生まれ	出身	長浜市鳥羽上町
家族構成	父母 実家暮らし	現住所	長浜市鳥羽上町

日常生活

- 仕事1：京都にある大学で福祉関係を学ぶ一年生。VR空間で授業が行われるため、平日は家にいることが多い。
- 仕事2：地元の友人と企業し、地域の観光業を盛り上げる事業に従事している。
- 休日：大学の友人たちとグランピングをしたり、外で身体を動かすことが多い。
- 趣味：長浜の美味しいものを食べ歩いている。

価値観

- 常に自然と共存していきたい。（アナログ自然回帰）
- 地域に貢献したいし、良さを外部に伝えたい。（地域思考が強い）
- 新たなことにチャレンジし続けたい。
- 何事も信頼できる仲間と協力するべきだ。
- 今あるものをちゃんと（後世に）残す。

楽しいこと

- 室内での活動時間が多く、外出する時間が少ないので、家の外に出るとすぐに自然が目に入るこの街が好きだと思う。
- 地域のイベント企画が上手くいくと、地域のみならず感謝されるのは嬉しい。特に、近くに住んでいる方々から対面で感謝されるとやって良かったと思う。
- 小中高生の時に学校の「地域に関する授業」で学んだ地域の繋がりを強く感じる活動に心を惹かれ、現在の事業を行なっているが、学んだことをしっかり体現できているなど嬉しく思う。

困ること

- 大学で福祉について学んでいるが、就職を考えた時に、AI、ロボットに対して、自分は何ができるか少し悩んでいる。
- 交通が不便なため、遠出しようとする、かなり大変。
- 親や祖父母の今後を考えると、もう少し医療機関が充実している場所に住んだほうが良いのかなと悩む。
- イベントや企画を考える際に、運営側と地域の方の方向性が分かれることが度々あり、すり合わせに苦労している。

将来像

- 自分のやりたいことが全力でできる環境に身を置きたい。
- オンラインでの活動が主になっているからこそ、家族や友人、仲間との対面のつながりや野外での活動を大切にしていきたい。
- 愛着のある地域に恩返しをしたい。

未来ペルソナ（70代の単身世代）



氏名	青木 京子		
年齢性別	70歳（女性） 1980生まれ	出身	長浜市加田町
家族構成	単身世帯・夫と死別・子は県外	現住所	長浜市加田町

日常生活

- 夫は10歳上で、10年前に死別した。夫が死んでから落ち込んでいたけれど、だんだん落ち着いてきた。
- 一人暮らしになってから、子ども達から介護機能もある人型ロボットをプレゼントされた。まだ介護は必要ないが、高いところのものが必要になった時や、力仕事が必要になった時に便利なので活用している。
- 子どもを産んで以降は専業主婦。まだまだ元気なので、週に何日かはパートに出ているが、たまに来る孫の世話が最優先。散歩や地域活動・ボランティア活動が人との交流の機会になっている。

価値観

- 生まれ故郷でもあり、お祭りや自治会にはできる限り参加している。子供たちのために美しく楽しい街を残したいと考えている。
- 長浜の好きなところは自然環境。湖から吹いてくる風、広がる畑、それを見て夫と過ごした時間に思いを馳せている。南長浜で開発が進んだエリアもあって便利だけど、幸運なことに自分にとっての長浜の原風景は残されていて、ずっとこのままであって欲しいと思っている。

楽しいこと

- 夫がいた頃は一緒に旅行するのが楽しみだった。
- 昔から庭いじりが好きで、今は庭で野菜を育てている。自然が好きで、保全しなければという意識もあり、地域でアシストスーツを装着しての清掃や、森林管理をスマホで行うボランティアに参加している。
- 子ども達は皆働いているが、テレワークでどこからでも働ける状態なので、よく孫を連れて遊びに来てくれるのがありがたい。

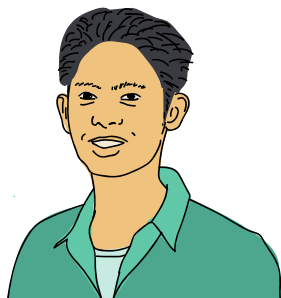
困りこと

- 子ども達がたまに帰ってくるので、昔皆で暮らしていたままの間取りのまま、モノもあまり整理できないままとなっているのに困っている。

将来像

- 長浜の良さを守り、引き継いでいきたい。特に自然環境。
- 気張らず、自分のできる範囲でできることをやって、それが結果的に誰かの役になっていたら嬉しい。

未来ペルソナ（30～40代子育て世代）



氏名	齋藤 湊		
年齢性別	35歳（男性） 2015年生まれ	出身	長浜市加田今町
家族構成	妻、娘（3歳）	現住所	長浜市室町

日常生活

- 仕事：大阪にあるIT関連企業の会社員。ほぼ在宅勤務。出勤時は公共交通機関で移動。
- 休日：土日は、基本、家族と長浜市内で遊ぶ（ハイキング、黒壁スクエア）、時々、京都や彦根など近郊に遠出（公共機関、カーシェア）。週休3日のうち1日は、琵琶湖を中心とした環境保全を目的とした地域コミュニティに所属している。最近は、自然と絡めた保育留学等のイベント企画などを行っている（まちづくりセンターを活動拠点にしている）。
- 趣味：子どもたちと琵琶湖や近隣の山に生息する生き物を見つけること

価値観

- 自然を感じていたい。メタバースが一般的になっているからこそ、身体性を感じさせてくれる自然が一層好き。
- 地域に貢献したい（父親の姿を見て）。
- 家族が大切。子どもは幸せに生きてほしい。
- 今を大切にする（災害が多いため）。
- 消費するよりも、生み出していきたい。
- 自分の生活によって、他国・他地域・次世代の人に苦勞をかけたくない。

楽しいこと

- 娘の保育園の送り迎えや、通勤中に南長浜の山々を見て季節を感じる。
- 娘と遊ぶこと。
- 子どもたちと琵琶湖や山で遊ぶこと。

困りごと

- 子どもが少ないため、保育園や学校の数が絞られており、家から遠い。
- 社会保障は減少しているため、病気になると負担が大きい。
- カーボンニュートラル・ネイチャーポジティブの浸透により、生活者としても消費抑制や、地産地消、サービス利用ではなく地域での助け合いが年々必要に。助け合うのはまだ慣れない。助けてもらった恩返しが常に念頭にあったり、地域の人からの目がたまにつらい。

将来像

- まちへの貢献、まちづくりの一環として、地域の人助け合いやすくなる仕組みができるとよい。気負いすぎずに助け合えるようなまちにしたい。
- 家族、親戚、地域の仲間といつまでも楽しく暮らしていきたい。

未来ペルソナ（30代の2世帯同居）



氏名	柴 拓実		
年齢性別	32歳／男性 2018年生まれ	出身	長浜市高橋町
家族構成	妻…33歳 子…3歳 父…65歳 母…60歳 ペット(犬)…2歳	現住所	長浜市高橋町

日常生活

- ・ バイオ大学修士課程修了後、一旦は大阪の会社に就職するも、先輩に誘われバイオ技術に関するベンチャー企業に再就職。
- ・ 琵琶湖や山から近く、自然を感じながら仕事ができることからストレスはあまり感じていない。
- ・ リカレント教育プログラムで農業を学んだ両親と共に、副業として地元の農業会社で農業機械の操縦やメンテナンスを外国人移住者に教えている。
- ・ 家族2世帯で暮らすことにより生活を維持している。※円の価値が低下するなど社会情勢が原因で生活が厳しい状況。夫婦共働き、両親の助力（家事、年金、子守り）により安定している。

価値観

- ・ メタバース空間でのやり取りが日常となり、また、AI等の普及で生活の大部分が自動化されたことで、現実世界における人との関わり合いが薄くなったが、他者や自然との関わり、多少不便でも手間のかかる生活が大切だと考えている。
- ・ 仕事柄、自然や農業、再生エネルギーに強い関心があり、できる限り自然は残しつつもメリハリのある土地開発が必要と考えている。
- ・ 家族が何よりも大切。（Uターンを決めた一因も、医療・福祉・教育等の都市機能と自然のバランスが良く、子育てや介護に最適と感じたため。）

楽しいこと

- ・ 仕事終わりのマリンスポーツや、たまの週末に家族や友人と楽しむ里山デイキャンプ。
- ・ 自分で育てた作物を収穫し、料理をすること。
- ・ 家族とのゆったりとした時間。
- ・ 地域行事に参加し、多くの人と関わりを持つこと。

困りごと

- ・ 子どもが安全にボール遊びできる公園がない。
- ・ 慣れ親しんだ南長浜で、企業拡大や独立を考えているが、土地の規制があって思うように進まない。
- ・ 人口減少により地域活動のメンバーが不足している。
- ・ 電気代が高騰し続けており町内の再生エネルギー施設を増やしたいが、いよいよ設置場所がなくなってきた。

将来像

- ・ 自然環境や景観と調和がとれた多くの企業が南長浜に立地し、切磋琢磨して企業が展開する“まち”になればいいと考えている。
- ・ 将来的には自分でベンチャー企業を立ち上げ独立したい。
- ・ 孫の代（3世代）までが同じ敷地もしくは隣り合って暮らすようなアメリカンファミリーを夢見ている。

未来ペルソナ（40代の南長浜来訪者）



氏名	川上楓		
年齢性別	40歳（女性） 2010年生まれ	出身	神奈川県横浜市
家族構成	夫	現住所	東京都品川区

日常生活

- 仕事：有資格の全国通訳案内士でありながら、滋賀県の地域観光コンシェルジュ（観光客のニーズに合わせて観光先・行程等を提案する人）でもある。AIの発達により言語の壁が取り払われつつあるものの、地域の文化や歴史を現地で生活している人の目線から再編集して伝えるという独自の метод論を持ちながら「心がふれあう観光」をモットーに仕事に励んでいる。
- 休日：夫と犬の散歩で公園に出かける。現住所は東京都だが、長浜の空き家を使ったに拠点生活もしている。
- 趣味：英文学や歴史

価値観

- 出身地や現在住んでいる町では祭りが少なかったのが地方の祭りへの憧れがある。
- 特に、長浜の曳山祭は壮大で惹かれるものがあった。
- 親戚も都市部に住んでいることが多く、日本の原風景がビルで囲まれた町であり、自然や古き良き日本に対する興味関心がある。
- 伝統、文化、歴史を大切にしながら色々な人にその魅力を知ってもらってきた。
- 地域の伝統などは地域の人たちの手で守っていくべきだ。

楽しいこと

- （長浜・南長浜エリアに来訪するきっかけ）京都に旅行客を案内した際、日帰りで行ける場所はないかと聞かれ、長浜を訪れたことがきっかけ。そのときは、金太郎相撲などのイベントを案内した。
- 棚田になっている蓮の花畑を見ることが好きだし、多くの観光客をそこに案内している。
- 自転車を借りて、観光客の人とサイクリングすることが好き。日本の田舎を“beautiful”と言ってもらうことに地元の人と同じくらいの誇りを感じている。

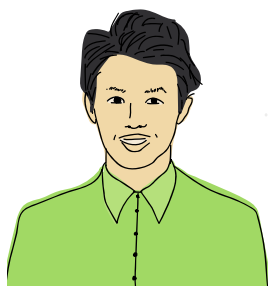
困ること

- 観光として魅せる部分がある程度の距離を持って点在しており、どのようにつなげていくのかということがまだ悩んでいる。
- 南長浜エリアに住む人々の目線から地域の魅力を紹介して行きたいが、地元の人と繋がる機会が少ない。
- 実際に農作業を体験できたり、地域において観光客の人が一緒になって取り組めるイベントがあればいいと思うが、観光客はお客様という認識で受け身の体験になっているのが勿体無い。
- 来訪者に対して、自身の街を誇らしく語れる人がもっと増えてほしいと思っている。

将来像

- 夫と将来的にはスローライフを楽しめるちょうどいい田舎に移住したい。
- 犬の散歩が夫とのコミュニケーションが密に取れる時間で、地方に移住したとしても大切にして行きたい。

未来ペルソナ（30代の移住者夫婦2人世帯）



氏名	豊田 正人		
年齢性別	36歳／男性 2014年生まれ	出身	兵庫県神戸市
家族構成	妻（32歳）	現住所	長浜市勝町

日常生活

- 仕事：WEBデザイナー。平日は在宅勤務中心。たまにクライアントのところへ赴く程度。
- 趣味：アウトドアが好きで、ハイキング、ボルダリング、フィッシング（琵琶湖でのバス釣り）をして過ごすことが多い。
- 休日の過ごし方：ボルダリング、ハイキング、フィッシングなどで過ごす以外は、地域のボランティア活動やコミュニティ活動に従事。さっとイラストを起こしたりできるので、地域活動のチラシ製作等で街の人から重宝されているのが意外と嬉しい。

価値観

- 自然・アウトドアが好きで、なるべく自然と共生できるような働き方をしたいと常々考えている。
- 仕事で長浜を訪れた際、山や川、湖などに日常的に触れ合える良い環境だと感じた。また、ちょっと中心部に出れば、衣食住に困らない点も魅力。
- これから子供を授かりたいと計画中。自然が多い地域でのびのび育てようと思っており、2年前に長浜に移住。保育園や幼稚園も園庭が広くて良さそうだと感じている。

楽しいこと

- WEBデザインでアイデアが沸かなかったり、デスクに向かい過ぎて疲れたりしたときに、散歩に出ることが多い。その際、家からちょっと歩くだけで、川があったり田んぼの横の畦道があったり、自然とすぐに触れ合えるのが楽しい。
- また、夜に星空を見ながら散歩するのも楽しく、週に何日か、運動も兼ねて妻とウォーキングしている。
- 南長浜は地域活動も充実しており、リモートワークが多い生活柄、リアルでの接点が多いことも楽しい。

困りごと

- 電車が不便な点がややネックに感じている。大阪まで行こうとすると、ちょっとした小旅行気分になる。ただ日常の移動は自動運転の普及もあって特に困ることはない。
- 子供を設けることを考えると、産婦人科が少ない点はやや不安に思っている。また、子供の遊び場があまり見当たらない点が懸念。公園は多いが遊具はあまり置かれていない。
- 教育機関も少ないので、子供がもっと大きくなったら、教育環境は心配。もし利発な子供だったら、偏差値の高い学校に通わせてやりたいが、市外通学となると通学が大変そうだと感じている。

将来像

- これからも自然と触れ合える環境で、妻と、願わくば子供2人くらいを授かって楽しく暮らしていきたい。
- 子供は、自然豊かな環境でのびのびと過ごして、感受性豊かな子供に育てほしい。
- 現在は全てネットで完結してしまう時代なので、子供にはできるだけ地域のイベントに参加してもらって、学校とか以外でもいろいろな経験を積んでほしい。